

CLARINET

ワンポイント・アドバイス

I 行進曲「煌めきの朝」

作曲：牧野圭吾

- ・十六分音符の動きが多いマーチです。音符の頭を丁寧に演奏することを心がけましょう。また、フルート、オーボエ、鍵盤楽器と一緒に演奏しているので、音程にも注意しながら揃える練習をしてみてください。
- ・付点八分と十六分のリズムが甘くならないように気をつけましょう。特にスラーがかかっている部分は、リズムがゆるみやすいです。
- ・トリオのメロディに出てくるAsは、指を補助して鳴りムラの改善やレガートに繋がるように工夫してください。図1の指がお薦めですが、楽器のモデルや個体差でも鳴りや音程の違いはあるので色々試してみてください。
- ・メロディのフレーズをどう歌うかを考えるヒントとして、スラーの切れ目のニュアンスをどう表現するかで印象が変わると思います。例えば96小節目の切れ目を収めるか次に繋げるかで表情が変わると思います。

II ポロネーズとアリア ~吹奏楽のために~

作曲：宮下 秀樹

- ・拍子感を意識して同じ強弱の中でも、それぞれの拍の重さを変えてみると、躍動感に幅が生まれてくると思います。「1拍目から3拍目」や「それぞれの表拍と裏拍」と細かく力関係を研究してみてください。
- ・ハーモニーの移り変わりを意識し、どう音符を吹き進めていくか収めていくかで表情が作られます。また、ハーモニーの種類にも目を向けてみると、抑揚の付け方が見えてくると思います。
- ・7、8小節目、113小節目、【F】や【L】～などの半音進行の運指が揃っている方が音程や音色が揃いやすくより鮮明に聴こえてくると思います。

III レトロ

作曲：天野正道

- ・冒頭の半音階は課題曲IIと同様に、運指に注意してください。
- ・5小節目の1st、2ndパートのCの音は、図2の運指にするのも一つの手です。聴こえ方も変わるので、正規の運指とも比べてみてください。
- ・8小節目にある1stのトリルは図3、2ndは図4または図5にすると楽になります。使用楽器によって音程も変わるので、検討してください。
- ・楽譜にはないアクセントやテヌート、スタッカートなどを感じ取ることで音楽の表現が変わります。
- ・リズムの切れ味、正確さが大切です。20小節目の2拍3連符、27小節目の3、4拍目のリズムなどが曖昧にならないよう、細かい音符を感じて演奏してください。

IV マーチ「ペガサスの夢」

作曲：水口 透

- ・課題曲IIと同じく拍子を意識して、1小節の中にある八分音符6つの感じ方をどのようにするかで、表情が変わってくると思います。
- ・アーティキュレーションを正しく演奏できているか確認してみてください。冒頭の十六分と八分音符、【C】～の動きなどは、スラーをつけすぎてしまいがちです。
- ・E♭Clと3rdにある139・143小節目のトリルは、E♭139 (図6) E♭143 (図8) 3rd 139 (図7) 3rd143 (図9)にすると楽だと思えます。

CLARINET

ワンポイント・アドバイス

図1

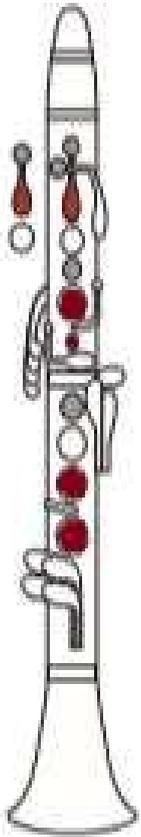


図2

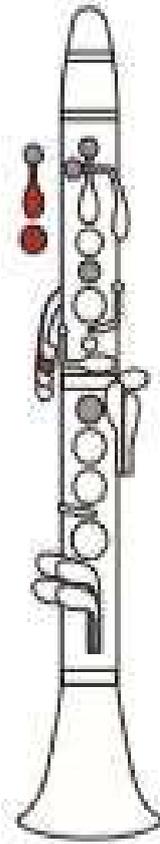


図3



図4



図5



図6



図7



図8



図9

